

「平成 29 年度旧上瀬谷通信施設返還跡地利用調査業務委託（その 2）」
受託候補者特定に係る実施要領

（趣旨）

第 1 条 「平成 29 年度旧上瀬谷通信施設返還跡地利用調査業務委託（その 2）」の受託候補者をプロポーザル方式により特定する場合の手続き等については、横浜市委託に関するプロポーザル実施取扱要綱（以下「実施要綱」という。）に定めがあるもののほか、この実施要領に定めるものとする。

（実施の公表）

第 2 条 実施の公表にあたっては、実施要領、提案書作成要領、提案書評価基準及び業務説明資料により、次の各号に掲げる事項について明示するものとする。

- (1) 当該事業の概要・基本計画等
- (2) プロポーザルの手続き
- (3) プロポーザルの作成所及び記載上の留意事項
- (4) 評価委員会及び評価に関する事項
- (5) その他必要と認める事項

（提案書の内容）

第 3 条 提案書は、次の各号に掲げる事項について作成するものとし、様式などは別に定める。

- (1) 業務実績
- (2) 当該業務の実施方針
- (3) 当該業務に関する具体的な提案
- (4) その他当該業務に必要な事項

（評価）

第 4 条 プロポーザルを特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 本業務に生かすことのできる過去の実績があるか
- (2) 本市や調査対象地域の立地条件や交通課題等を把握しているか
- (3) 本業務と関連する業務委託との連携について記載があるか
- (4) 農業の振興と都市的土地利用を両立する、本市郊外部の再生に資する新たな活性化拠点を目指す視点から、計画づくりを進める提案であるか
- (5) 民間のノウハウや将来における市場性などを捉えた、土地利用の実現性の高い計画づくりを提案できているか
- (6) 概ね 10 年後のまちづくりの実現に向けて、29 年度以降効率的に事業を進めるための工夫を提案できているか
- (7) 多面的な発想・視点を持った提案であるか
- (8) 取組意欲の感じられる提案であるか
- (9) 男女共同参画に関する取組を進めているか

2 プロポーザルの評価にあたって、提案者にヒアリングを行うものとする。

- 3 提案書の内容及びヒアリング結果を基に、当該業務に最も適した者を特定する。
- 4 特定、非特定に関わらず、各々の提案者の評価結果については、その提案者に通知する。

(プロポーザル評価委員会)

第5条 評価委員会は、次の各号に定める事項について、その業務を行う。

- (1) 提案書の評価
 - (2) 評価の着眼点、評価項目及びそのウエイト並びに評価基準の確認
 - (3) 評価の集計及び報告
 - (4) ヒアリング
- 2 評価委員会には委員長、副委員長及び委員を置き、次のとおりとする。
- | | |
|------|----------------|
| 委員長 | 政策局総務部長 |
| 副委員長 | 政策局総務課長 |
| 委員 | 政策局政策課担当課長 |
| | 政策局基地対策課担当課長 |
| | 道路局企画課長 |
| | 都市整備局市街地整備調整課長 |
- 3 委員長に事故等があり、欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 評価委員会は、委員の5分の4以上の出席がなければ開くことができない。
 - 5 委員長は、評価結果を政策局第1入札参加資格審査・指名業者選定委員会に報告するものとする。

(評価結果の審査)

第6条 選定委員会、評価委員会から評価結果の報告があったときは、選定委員会において、次の事項について審査する。

- (1) 評価委員の採点が適正に行われたこと。
- (2) 評価委員会の審議及び採点の集計等が適正に行われたこと。
- (3) 評価結果に関し、必要事項以外に公表する事項の選定
- (4) 特定、非特定結果通知書に記載する理由
- (5) その他必要な事項

附則

この要領は、平成29年2月9日から施行する。